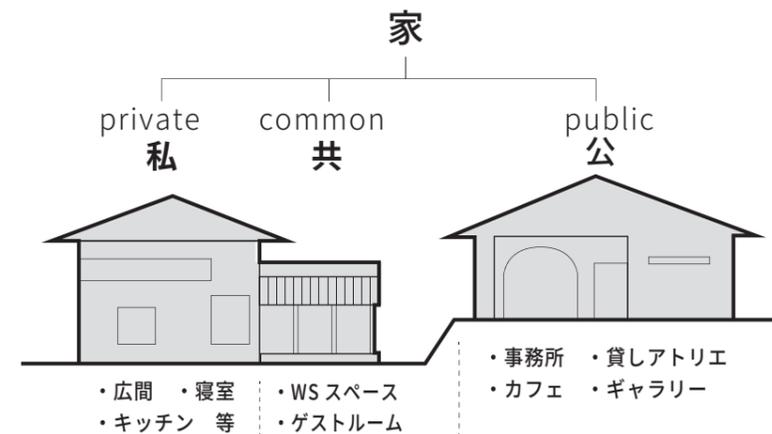
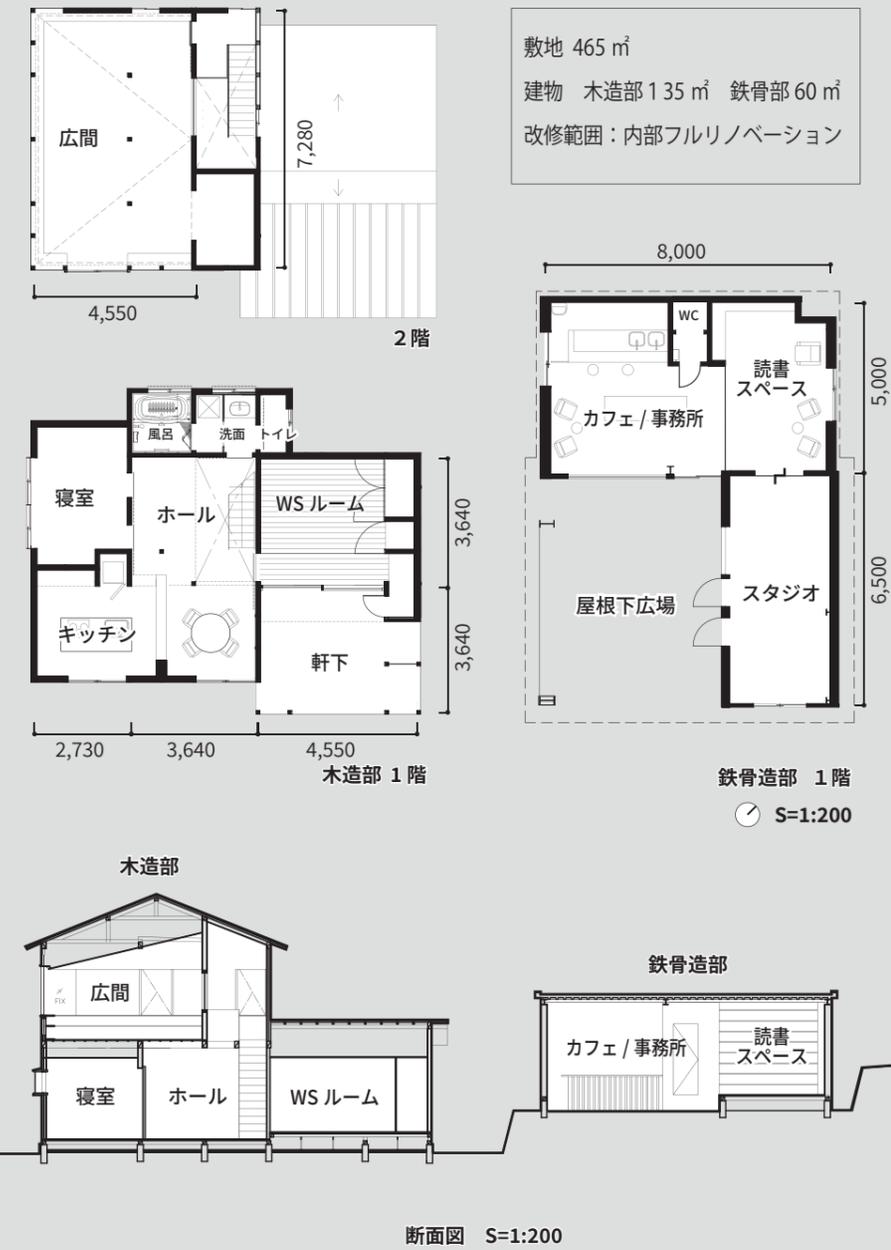


# 瀬戸の改修



## 設計趣旨

建主はコロナをきっかけに東京から愛知県瀬戸市に移住した夫婦。  
夫婦共にリモートワークが可能な職業であり（夫は設計事務所を営む）  
地方・在宅勤務・子育ての状況に対して  
①他者と出会う機会のある場所を住宅内に作ること  
②その場所が住宅（建主の住生活）の一部としても機能すること  
によって令和らしい自由なライフスタイルを実現できる家を目指しました。

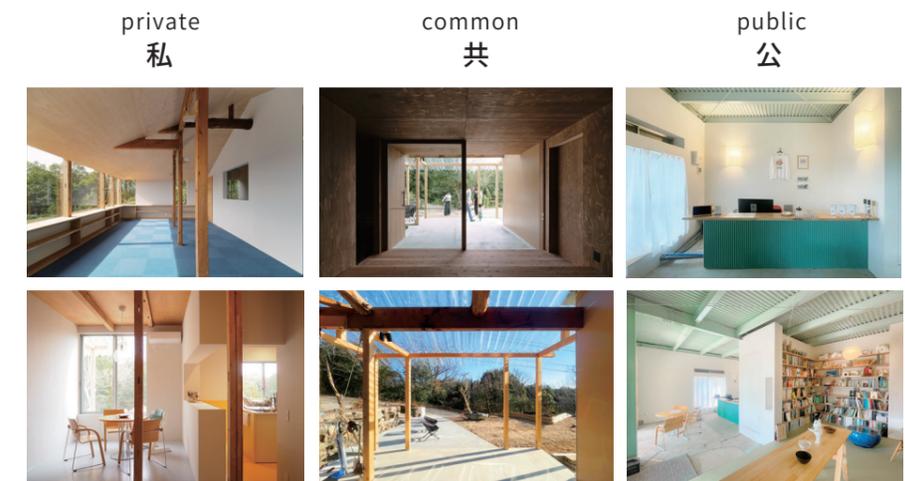


## 住宅地から離れた 2軒の住宅の改修

陶器で有名な愛知県瀬戸市。約50年前に宅地開発ではなく、住民によって切り開かれた土地と、連続する2軒の建物が今回の改修計画の敷地です。

## 「私」「共」「公」の空間を持つ住宅

2棟の建物を3軒として改修し、「公・共・私」として位置づけることで、隣家のない自由な住み心地と、来客・コミュニティの楽しさの両方を持つ住宅を構想しました。

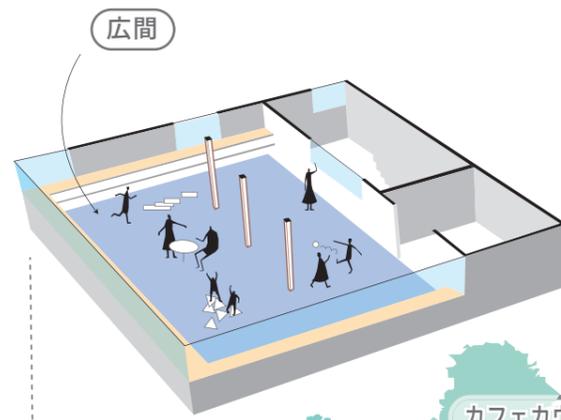


## 設えの違いによって居場所を選択できる「ひとつの家」

「公・共・私」の空間で設えの雰囲気を変えることにより、ひとつの家として気分によって居場所を選びながら生活することができる住宅を目指しました。



広間 自由に振舞える雰囲気のある広場の様な空間



広間

ギャラリー・ショップ

カフェカウンター

ペース

読書スペース



カフェ・事務所 家の中で最も「そとゆき」の雰囲気を持つ空間

WSルーム

友人が使うスタジオ

団欒スペース

寝室

屋根のあるソト広場



団欒スペース 「家族」の親密さを感じる住宅らしい空間

家庭科室のようなキッチン

ゆっくり軒下



友人が使うスタジオ 友人が絵を描くためのアトリエ 本計画唯一の他者のためのみの空間

空地の公園

自作の畑



WSルーム WSやヨガ・手仕事など小さな活動の似合う空間



屋根のあるソト広場 「住宅」の雰囲気が薄く来客の人が自由に使える居場所